

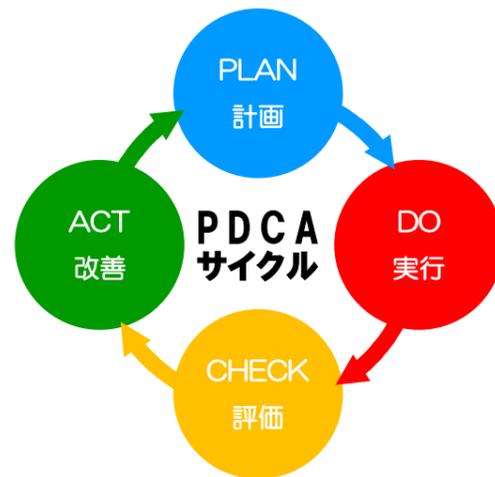
6. バリアフリー基本構想の推進にあたって

バリアフリー基本構想の実現には事業の進捗状況の把握や実施した事業の強化を行い、その結果を関係者が共有し、次のステップに進めていくことが必要となります。

このため、バリアフリー基本構想の推進施策として、次の取組みを行います。

<バリアフリー基本構想の推進施策>

- ・施設設置管理者・行政・町民の協力による施策の推進
- ・「精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想庁内検討会」におけるバリアフリー基本構想の進捗状況についての報告、評価、事後点検等の実施
- ・計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACT）のいわゆるPDCAサイクルに基づく、段階的・継続的な改善の実施



精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想 【JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区 概要版】 令和2年3月発行

編集・発行：精華町事業部都市整備課

住 所：京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電 話：0774-95-1902

F A X：0774-95-3973

M a i l：toshi@town.seika.lg.jp

精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想 【JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区】

= 概要版 =



令和2年3月



精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想【全体構想】

1. バリアフリー基本構想の位置づけ

本基本構想は、改正されたバリアフリー法による移動等の円滑化の促進に関する基本方針に基づくとともに、精華町の「精華町第5次総合計画」や「精華町都市計画マスタープラン」における道路・公共交通・バリアフリー関連の方針、および「第3次精華町地域福祉計画」をはじめとする福祉に関連する計画等と整合を図り策定したものです。

なお、基本構想の策定にあたっては、「精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想連絡調整協議会」および「精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想庁内検討会」を設置し、検討を行っています。

2. 全体構想の概要

■バリアフリーの目標

人を大切にする精華町総合計画のまちづくりの理念や、第3次精華町地域福祉計画の基本理念を踏まえ、面的・一体的なバリアフリー化を推進するための目標を次のように設定します。

人を大切にして 誰もが出かけやすいまちを みんなでつくる 精華町

■バリアフリーの基本方針

目標を実現していくため、次の3つの基本方針を定めます。

【基本方針1】 誰もが安心して利用できる鉄道駅のバリアフリー化を推進します。

- ・精華町民や精華町を訪れる人々の移動の中心となる鉄道各駅でのバリアフリー化の充実を図るとともに、案内サイン誘導とも連動し、誰もが安心して移動できるまちづくりを推進します。

【基本方針2】 高齢者・障害者などに配慮した人にやさしい移動環境の形成を推進します。

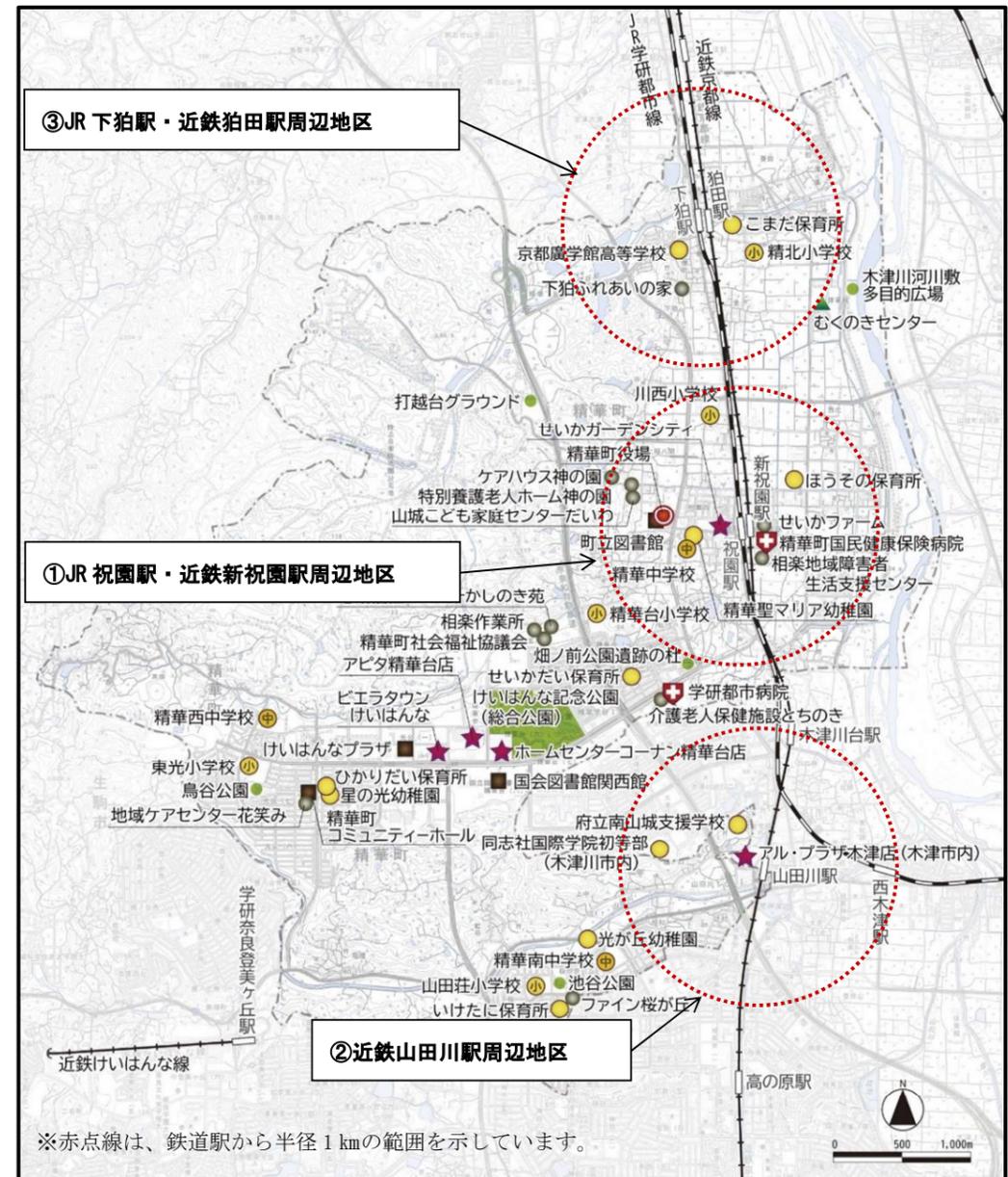
- ・歩道の設置、段差の解消、使いやすいバス停など、高齢者・障害者などに配慮した人にやさしい移動環境の形成を面的・一体的に推進します。

【基本方針3】 「我が事」の支えあいのきずなが実感できる「心のバリアフリー」を推進します。

- ・施設整備（ハード面）だけでなく、高齢者や障害者等の困難を「我が事」として捉え、やさしさや思いやりを持って、積極的に協力するソフトな「心のバリアフリー」を町民みんなで推進します。

3. 重点整備地区の設定

精華町内の主な生活関連施設の立地状況を踏まえると、重点整備地区の要件を満たす候補地区としては、JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区、近鉄山田川駅周辺地区、JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区の3地区があげられます。これらの3地区を重点整備地区に設定し、順次、バリアフリー化事業を推進していくこととします。なお、具体的な重点整備地区の範囲については、各地区の基本構想策定に合わせて設定します。



■重点整備地区のバリアフリー基本構想の策定予定

策定予定年度	重点整備地区名称
令和元年度	JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区バリアフリー基本構想
令和2年度	近鉄山田川駅周辺地区バリアフリー基本構想
令和4年度	JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区バリアフリー基本構想

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区バリアフリー基本構想

4.地区の現状

■ JR 祝園駅・近鉄新祝園駅

JR 祝園駅と近鉄新祝園駅はともに橋上駅で、自由通路で連絡されており、乗換の利便性が良い駅となっています。また、駅前広場が東側と西側の両方にあり、自由通路と駅前広場は東側と西側ともにエレベーターが設置されており、駅前広場西側には、車いす対応のトイレが設置されているなどバリアフリーへの対応がなされています。

■ 主な生活関連施設

JR 祝園駅と近鉄新祝園駅周辺地区には、駅西側には、商業施設のせいかガーデンシティや銀行・郵便局、医院が立地しています。公共施設としては、精華町役場、精華町立図書館、教育施設としては、川西小学校、精華中学校、精華聖マリア幼稚園があります。また、駅東側には、精華町国民健康保険病院が立地しています。

精華町役場の西側には、ケアハウス神の園、特別養護老人ホーム神の園、山城こども家庭センターだいわが立地しています。

■ 地区内における主な課題

課題を把握するため、タウンウォッチングを実施し、精華中学校方面コース、川西小学校方面コースの2コースに分かれて、鉄道駅や道路などで問題箇所や改善箇所がないかのチェックを行いました。さらに、ワークショップにおいて各班で意見交換を行いながら、駅舎や道路等の問題点や課題を抽出しました。

【タウンウォッチング概要】

実施日：令和元年10月21日（月）
9:00～12:00

参加者：37名（精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想連絡調整協議会、地域住民、障がい者の方、その他関係者、事務局等）



5.重点整備地区の設定とバリアフリー化事業計画

重点整備地区の設定

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区の重点整備地区の境界を設定しました。

なお、菱田・植田線の消防本部前交差点から川西小学校までの区間については、通学路となっていることから、バリアフリー化事業ではなく、通学路の整備事業としてタウンウォッチング調査で抽出した問題点への対応を検討していくこととします。

バリアフリー化事業計画について

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区におけるバリアフリー化を推進するため、タウンウォッチング等から得られたバリアフリー上の問題点を踏まえ、各施設の管理者が今後実施していくバリアフリー化事業計画の概要を定めます。

整備目標年度は、令和2～令和5年度を短期、令和6年度以降を中長期として、関係機関等と連携しながら計画的にバリアフリー化事業に取り組みます

R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	
← 短期 →				← 中長期 →							

<ソフト施策（心のバリアフリーの推進）によるバリアフリー化への取組み>

- 町民がバリアフリー化の重要性や高齢者・障害者等に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進。
- 広く一般にバリアフリー化状況を周知するためのバリアフリーマップの作成、施設管理者によるバリアフリー情報の提供。
- 放置自転車対策や安全な歩行空間を阻害する行為等に対するマナーの向上の啓発・広報活動、および、放置自転車の撤去や取締りの実施。
- 通路幅員の確保、段差の解消、点字ブロックの設置などによる工事中のバリアフリーの実施。

■町道菱田・植田線
○歩行者空間の拡充のための運用改善および整備の検討

■祝園東畑線
○歩道の舗装面の補修
○歩行者と自転車の通路区分に関する運用改善および整備の検討

